

佐賀県文化財調査報告書 第 150 集
鳥栖北部丘陵新都市関係文化財調査報告書 3

柚 比 遺 跡 群 2

序・例言

第 1 分冊

第 2 分冊

第 3 分冊

安 永 田 遺 跡
(4・5・6区)

前 田 遺 跡

田 代 公 園 遺 跡

う つ ろ 坂 遺 跡

永 田 古 墳 群
(附：梅坂古墳)

今 町 岸 田 遺 跡

岸 田 南 遺 跡

今 町 共 同 山 遺 跡

柚 比 梅 坂 遺 跡

2002年3月
佐賀県教育委員会

序

本書は、地域振興整備公団による鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業に伴い、平成4年度から平成11年度にかけて佐賀県教育委員会・鳥栖市教育委員会・基山町教育委員会が協力して実施した柚比遺跡群発掘調査の記録をまとめたもので、平成14年度までに順次刊行を予定している調査報告書の第二冊目となるものです。

柚比遺跡群を特徴づけるのは弥生時代の遺跡で、今回報告する地区からもたくさんの遺構や遺物が見つっています。なかでも柚比梅坂遺跡の大規模な甕棺墓地は古代社会を復元する有力な手がかりとなるものですし、前田遺跡から出土した農具や容器等の多様な木製品は当時の生活や文化を生々しく伝える貴重な資料と言えましょう。

本書が学術文化の向上に幾分とも寄与し、併せて郷土の歴史を学ぶ資料のひとつとして生涯教育や学校教育の場で活用されるものになれば幸いに存じます。

発刊にあたり、埋蔵文化財の保護に深い御理解と多大な御協力を賜った関係各位に対し衷心より篤くお礼を申し上げ、御挨拶といたします。

平成14年3月

佐賀県教育委員会
教育長 松尾正廣

例 言

- 1 本書は、鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業（鳥栖地区）に伴い発掘調査を実施した柚比遺跡群の発掘調査報告書の第2冊である。
- 2 本書で報告する遺跡は、安永田遺跡、前田遺跡、田代公園遺跡、うつろ坂遺跡、永田古墳群（附：梅坂古墳）、今町岸田遺跡、岸田南遺跡、今町共同山遺跡、柚比梅坂遺跡の9遺跡である。
- 3 発掘調査は佐賀県教育委員会が主体となり、鳥栖市教育委員会・基山町教育委員会と合同で実施した。
- 4 発掘調査にあたっては、地域振興整備公団鳥栖都市開発事務所、佐賀県土木部都市計画課、鳥栖市建設部北部丘陵対策課、基山町企画課、並びに地元各位の協力を得た。
- 5 報告書作成作業に従事したものは下記のとおりである。

遺物整理：岡本 光子・井上 トヨ子・権藤 トミ子・佐藤 ヨシエ・渋谷 信子・高嶋 カホル

遺物実測：天本 和子・石橋 和子・一番ヶ瀬 富士子・江副 朋子・植村 美鈴・緒方 恭子・緒方 孝子・蒲原 淑子

久保 恭枝・渋谷 格・島 孝寿・下村 佐和子・上瀧 光子・白木原 宜・鶴田 啓子・永淵 笑美子

松野 富子・皆越 弘子・村里 育子・横枕 栄子・吉田 恵美・吉本 健一

(株)埋蔵文化財サポートシステム

整図：石橋 和子・江島 美恵子・江副 朋子・植村 美鈴・緒方 恭子・権藤 由美子・鶴田 啓子・皆越 弘子

三好 文子・村里 育子・毛利 よし子

遺物写真撮影：天本 千津代・天本 美穂子・内野 武史・渋谷 格・島 孝寿・白木原 宜・徳永 貞紹

吉田 恵美・吉本 健一

編集補助：百崎 正子

- 6 本書の執筆・編集は平成13年度の調査員等が行った。主な分担は下記のとおりである。

第1・2（5区弥生時代墓地）・4・8章：徳永 貞紹

第2・5章：内野 武史

第3章：白木原 宜

第6・9章：島 孝寿

第7章：吉田 恵美

第10章：渋谷 格

本書の記載方法

- 1 本書で報告する遺跡は下記の略号を与え、実測図・写真等の記録類や出土遺物の注記等に使用している。

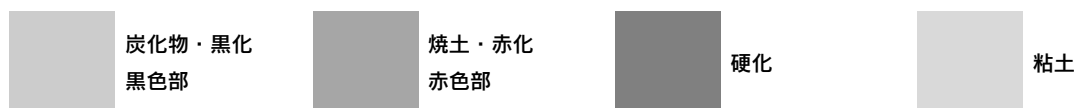
安永田遺跡：Y A S 前田遺跡：Y M E 田代公園遺跡：T S R うつろ坂遺跡：U T R
 永田古墳群：Y N A 梅坂古墳：Y U K 今町岸田遺跡：I K D 岸田南遺跡：K S M
 今町共同山遺跡：Y I K 柚比梅坂遺跡：Y B U

- 2 個々の遺構名は、遺構の種別を表す英大文字2文字の分類記号（下記を参照）と遺構番号の組み合わせで示す。遺構番号の頭には、各遺跡ごとに地区名を示す数字を付けている。なお、小穴・柱穴は遺物の出土したものに限り、他の遺構とは別個の通し番号を与えている。

本書の遺構分類記号

SH：竪穴住居 SB：掘立柱建物 SJ：甕棺墓・土器棺墓 SP：木棺墓・土坑墓 SC：石棺墓・石蓋土坑墓
 ST：古墳・墳丘墓 SD：溝・流路 SK：土坑 SX：その他の遺構・不明遺構 P：小穴・柱穴

- 3 挿図・表・写真図版は各章ごとの通し番号とし、例えば、第3章の図1を「図3-1」の要領で記す。
 4 実測した出土遺物には8桁の遺物登録番号を1点ずつ付し、挿図中には各図ごとの通し番号を付した。
 5 表で示した計測値は、寸法はセンチメートル、重量はグラム、方位・角度は度を単位とし、推定値に+、復元値に*を付けて表現する。
 6 表中の「○」は有り、「-」は不明・不要を意味する。
 7 遺構の表で、甕棺墓は下記のように表現する。
 (1) 甕棺形式の「上甕」「下甕」の項目は、左側に土器の器種、右側に打ち欠きか否かを「欠」「完」で示す。
 (2) 甕棺墓の主軸方位は上甕側からの値とし、角度は水平から上甕が起きている値とする。
 8 本書で用いる方位は国土座標第Ⅱ系の座標北とし、磁北はこれより西偏約6°10′である。
 9 個別遺構図中に網で表現したものは、特に説明がない場合は下記のとおりとする。



- 10 弥生時代～奈良・平安時代の時期区分と細分に関しては、土器様式編年を指標として下記のように表現する。
弥生時代：前期・中期・後期の3期区分とし、おおむね板付Ⅰ式併行を前期初頭、板付Ⅱ式古～中相併行を前期中頃、板付Ⅱ式新相併行を前期末、城ノ越式併行を中期初頭、須玖Ⅰ式古相を中期前葉、須玖Ⅰ式新相～須玖Ⅱ式古相を中期中葉、須玖Ⅱ式新相を中期後葉、高三瀧式古相併行を後期初頭、高三瀧式新相併行を後期前半、下大隈式併行を後期後半、西新式・惣座式併行を後期終末とする。細分が困難な場合は「前期末～中期初頭」等の要領で記し、逆に更なる細分が可能な場合は「中期中葉古」等の要領で記す。
古墳時代：前期・中期・後期の3期区分とし、須恵器出現以前の布留式併行期を前期、北部九州の須恵器編年である小田編年のⅠ期（型式）を中期、Ⅱ～Ⅵ期（型式）を後期とし、いわゆる飛鳥時代も古墳時代後期に含める。
奈良・平安時代：大宰府編年のⅡ～Ⅲ期（型式）併行を奈良時代前期、大宰府Ⅳ～Ⅴ期（型式）併行を奈良時代後期、大宰府Ⅵ期（型式）併行以降を平安時代とする。

報告書抄録

書名	柚比遺跡群 2								
副書名	鳥栖北部丘陵新都市関係文化財調査報告書 3								
シリーズ名	佐賀県文化財調査報告書			シリーズ番号		第150集			
編著者	徳永 貞紹・白木原 宜・渋谷 格・吉田 恵美・内野 武史・島 孝寿								
発行機関	佐賀県教育委員会			発行年月日		平成14（西暦2002）年3月29日			
住所	〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1丁目1番59号 電話：0952-24-2111（代）								
所収遺跡名	所在地		コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
	市町村	遺跡	市町村	遺跡					
やすながた いせき 安永田遺跡	さがけん と すし ゆ びまちはあざやすながた ひらばる 佐賀県鳥栖市柚比町字安永田・平原		41203	-	33° 23 49	130° 31 10	1992年4月 ～ 1995年2月	17,200	鳥栖北部丘陵新都市 開発整備事業
まえだ いせき 前田遺跡	さがけん と すし ゆ びまちはあざまえだ おぎの やすながた 佐賀県鳥栖市柚比町字前田・荻野・安永田		41203	-	33° 23 55	130° 30 59	1992年5月 ～ 1999年11月	58,100	
たしろこうえん いせき 田代公園遺跡	さがけん と すし ゆ びまちはあざおぎの 佐賀県鳥栖市柚比町字荻野		41203	-	33° 23 57	130° 30 52	1998年8月 ～ 1999年1月	3,700	
うつつろ坂遺跡	さがけん と すし ゆ びまちはあざうめさか ながた 佐賀県鳥栖市柚比町字梅坂・永田		41203	-	33° 24 13	130° 30 58	1993年12月 ～ 1996年9月	17,600	
ながた こふん 永田古墳群	さがけん と すし ゆ びまちはあざながた 佐賀県鳥栖市柚比町字永田		41203	-	33° 24 12	130° 30 48	1996年7月 ～ 1998年6月	46,900	
うめさかこふん 梅坂古墳	さがけん と すし ゆ びまちはあざうめさか 佐賀県鳥栖市今町字梅坂 さがけん みやきくろやまちのおおあざのべあざみかしのかなまる 佐賀県三養基郡基山町大字園部字三ヶ敷・金丸		41203 41341	-	33° 24 24	130° 31 11	1997年1月 ～ 1997年7月	(2,950)	
いままちきしだ いせき 今町岸田遺跡	さがけん と すし いままちあざきしだ 佐賀県鳥栖市今町字岸田		41203	-	33° 24 10	130° 31 30	1992年4月 ～ 1997年5月	12,600	
きしだみなみいせき 岸田南遺跡	さがけん と すし いままちあざきしだ 佐賀県鳥栖市今町字岸田		41203	-	33° 23 59	130° 31 42	1996年3月 ～ 1998年11月	7,000	
いままちきようやまいせき 今町共同山遺跡	さがけん と すし いままちあざやつ なみ うめさか 佐賀県鳥栖市今町字八ツ並・梅坂		41203	-	33° 24 18	130° 31 22	1995年6月 ～ 1997年2月	21,700	
ゆびうめさか いせき 柚比梅坂遺跡	さがけん と すし ゆ びまちはあざうめさか ながた 佐賀県鳥栖市柚比町字梅坂・永田		41203	-	33° 24 19	130° 30 58	1995年10月 ～ 1996年11月	54,100	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構			主な遺物		特記事項	
安永田遺跡	墓	縄文	土器棺墓1			縄文土器		磨製石戈 彩文甕棺	
	集落・墓地	弥生	竪穴住居73・土坑50・溝5・周溝状遺構7 甕棺墓170・土坑墓1・石棺墓1			弥生土器・石器・鉄器			
	集落	古墳～古代	竪穴住居18・土坑6			土師器・須恵器			
前田遺跡	集落・墓地	弥生	竪穴住居98・土坑24・掘立柱建物3・溝6 甕棺墓11・不明遺構4			弥生土器・石器・木器		魚形青銅器鋳型 弥生時代の木製品	
	集落	古墳	竪穴住居19・土坑6・溝7			須恵器・土師器・鉄器			
	集落	中世	土坑3・溝5			土師器・陶磁器			
田代公園遺跡	集落	弥生	甕棺墓1・土坑22・溝3			弥生土器・石器・土製品		初期高麗青磁碗 革地？漆塗小札	
	集落	古代～中世	土坑墓1・木棺墓1・井戸2・土坑32・溝9・埋納遺構?1			須恵器・土師器・瓦器 陶磁器・石製品			
うつつろ坂遺跡	集落	弥生	竪穴住居7・土坑2・甕棺墓3・溝1			弥生土器・石器・土製品		-	
		古墳～中世	竪穴住居8・土坑2・溝5			土師器・須恵器・石製品 瓦・土製品・鞆羽口・陶磁器			
永田古墳群	古墳群	古墳	古墳30			須恵器・土師器・鉄器 装身具・銅鏡		重圓文鏡・金銅製馬具 石組排水施設	
	集落・墓地	古墳～古代	竪穴住居15・土坑30・火葬墓10・焼成遺構18			土師器・須恵器			
	屋敷	近世	土坑30			陶磁器			
梅坂古墳	古墳	古墳	古墳1			土師器・須恵器・鉄器		金銅製馬具	
	集落	弥生	竪穴住居6・土坑30・貯蔵穴34			弥生土器・石器			
今町岸田遺跡	集落	古墳～奈良	竪穴住居43・土坑2			須恵器・土師器・石器		貯蔵穴群	
	居住地	縄文	貯蔵穴1・土坑7・剥片集積遺構1			縄文土器・石器・堅果類			
今町共同山遺跡	包含層	旧石器～縄文	遺物包含層			縄文土器・石器		刺突文土器	
	集落	弥生～古墳	竪穴住居1・土坑4・溝2			弥生土器・石器 土師器・須恵器			
柚比梅坂遺跡	墓地	弥生	甕棺墓387・土坑墓14・土坑14			弥生土器・鉄器・石器 青銅器・貝輪		イモガイ製貝輪・銅剣切先 炉状遺構・馬埋葬坑	
	集落・古墳	古墳～古代	竪穴住居32・炉状遺構6・土坑5・古墳2			土師器・須恵器・鉄器 瓦・鞆羽口			
	集落	中世	溝2・柵列2			土師器			